



2025年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社 マルヨシセンター

上場取引所 東

コード番号 7515 URL <http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 佐竹 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 加藤 宏道
兼 CFO 管理本部長

TEL 087-874-5511

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	30,748	3.5	37		45		79	
2024年2月期第3四半期	29,698	2.8	261	111.4	245	143.2	117	224.4

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 58百万円 (%) 2024年2月期第3四半期 149百万円 (319.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	85.31	
2024年2月期第3四半期	126.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	17,139	3,169	17.2
2024年2月期	16,195	3,255	18.8

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 2,939百万円 2024年2月期 3,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		30.00	30.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.4	310	24.7	300	24.6	80	41.0	85.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	934,999 株	2024年2月期	934,999 株
期末自己株式数	2025年2月期3Q	151 株	2024年2月期	119 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	934,860 株	2024年2月期3Q	928,407 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)におけるわが国の経済は、インバウンド需要の増加や社会活動の正常化に伴う人流の回復など景気回復の兆しが見える一方で、資源・エネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ戦争並びにイスラエルにおける武力衝突の長期化、中国経済の停滞など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、雇用・所得環境改善の兆しはあるものの、急速な円安の進行やコストアップに伴う物価の高騰等により実質賃金は低迷し、厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、物価上昇による将来への不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループでは引き続き「健康とおいしさ」を軸とした「マルヨシクオリティー」の追求を方針としております。第一に接客サービスの向上を目指し、マニュアルにとらわれない「お客様中心」のサービス構築によるホスピタリティの向上を図っております。また、商品についても「健康とおいしさ」をキーワードに、より高い品質を追求し、生鮮(精肉、デリカ他)を強化カテゴリーと位置づけ、さらなる差別化を進めることで、生鮮の魅力向上を図っております。あわせて「味Gメン」による味と品質チェックも継続し、より高い「マルヨシクオリティー」の実現を目指しております。また、お客様が「必要な時に」「必要なものが」「必要な数量」揃った売場を目指して品切れさせない時間帯別の売場管理を徹底しており、サービス・品質・売場の総合的にお客様に満足いただけるお店作りを行っております。これらの施策のフラッグシップモデル、且つ、当社の四国戦略の一号店として2024年11月に三加茂店(徳島県三好郡)を改装オープンいたしました。

一方で、製造工場の生産性向上も重要課題ととらえ、製造商品の選択と集中による製造効率の向上や新しい製造機器への投資による生産性の向上に取り組んでまいります。

また、株式会社イズミのランサムウェア感染被害の影響やシステム統合に伴う当社システム整備のための費用が発生したものの、段階的に進めてきた株式会社イズミとの仕入、物流、システムの統合が2024年6月から本格稼働しており、今後は、仕入れ原価の低減や物流の効率化を更に進め、利益拡大を図ってまいります。

このような取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は293億18百万円(前年同期比2.5%増)と好調に推移しておりますが、前述の三加茂店の改装費用等により営業損失は37百万円(前年同期は2億61百万円の営業利益)、経常損失は45百万円(前年同期は2億45百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は79百万円(前年同期は1億17百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金が2億4百万円、商品が3億91百万円増加したことなどにより、前期末に比べ7億62百万円増加し、38億13百万円となりました。

有形固定資産は、前述の三加茂店の改装投資等により前期末に比べ76百万円増加の110億23百万円、無形固定資産は、株式会社イズミとのシステム統合に併せた周辺システムの再編投資等により前期末に比べ1億5百万円増加し、6億34百万円となりました。

投資その他の資産は、純投資目的株式の売却を進めたことで投資有価証券が30百万円減少した一方で繰延税金資産が34百万円増加したことなどにより、前期末に比べ0百万円増加の16億66百万円となりました。

繰延資産は、前期末に比べ1百万円減少し、1百万円となりました。

(負債)

負債は、前期末に比べ10億29百万円増加し、139億69百万円となりました。その主な内訳は、有利子負債が8億58百万円減少した一方で、11月末日が銀行の休業日だったことが影響し、買掛金が12億58百万円増加したこと、前述の三加茂店の改装投資等も含めて流動負債のその他に含まれる未払金が7億83百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が1億7百万円減少したことなどにより、前期末に比べ86百万円減少し、31億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2024年4月15日発表の業績予想から変更しておりません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,110,532	1,167,572
売掛金	629,923	834,019
商品	1,160,487	1,552,022
その他	149,411	259,682
流動資産合計	3,050,355	3,813,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,250,088	16,885,563
減価償却累計額	△13,033,172	△13,248,682
建物及び構築物(純額)	3,216,916	3,636,881
機械装置及び運搬具	2,145,359	2,206,749
減価償却累計額	△1,853,884	△1,857,911
機械装置及び運搬具(純額)	291,474	348,837
工具、器具及び備品	2,760,065	2,771,110
減価償却累計額	△2,442,336	△2,407,171
工具、器具及び備品(純額)	317,728	363,938
土地	6,621,770	6,619,011
リース資産	423,975	425,163
減価償却累計額	△347,328	△370,360
リース資産(純額)	76,646	54,802
建設仮勘定	422,837	-
有形固定資産合計	10,947,375	11,023,472
無形固定資産	529,130	634,215
投資その他の資産		
投資有価証券	323,935	293,461
繰延税金資産	512,274	546,363
差入保証金	798,871	793,550
その他	63,381	65,625
貸倒引当金	△32,720	△32,720
投資その他の資産合計	1,665,743	1,666,280
固定資産合計	13,142,248	13,323,968
繰延資産		
社債発行費	2,890	1,848
繰延資産合計	2,890	1,848
資産合計	16,195,493	17,139,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,430,900	3,689,360
短期借入金	550,000	450,000
1年内償還予定の社債	163,000	148,000
1年内返済予定の長期借入金	1,972,142	1,804,299
未払法人税等	134,032	27,993
賞与引当金	118,194	217,164
契約負債	87,257	94,719
その他	959,597	1,625,305
流動負債合計	6,415,123	8,056,842
固定負債		
社債	337,000	206,500
長期借入金	4,601,463	4,156,562
リース債務	56,876	46,247
退職給付に係る負債	1,073,178	1,048,354
役員退職慰労引当金	55,284	58,945
資産除去債務	115,641	117,247
その他	285,036	278,735
固定負債合計	6,524,478	5,912,591
負債合計	12,939,601	13,969,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,428,803	1,321,003
自己株式	△461	△461
株主資本合計	3,024,086	2,916,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,894	15,622
退職給付に係る調整累計額	10,276	8,018
その他の包括利益累計額合計	23,171	23,641
非支配株主持分	208,634	229,753
純資産合計	3,255,891	3,169,680
負債純資産合計	16,195,493	17,139,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	28,602,056	29,318,616
売上原価	21,896,020	22,424,171
売上総利益	6,706,036	6,894,445
営業収入	1,096,866	1,429,583
営業総利益	7,802,902	8,324,029
販売費及び一般管理費		
販売促進費	226,891	257,952
消耗品費	178,536	246,857
運賃	458,589	434,315
賃借料	10,724	19,973
地代家賃	550,885	551,694
修繕維持費	339,423	364,384
給料手当及び賞与	3,273,857	3,482,733
福利厚生費	477,802	505,984
賞与引当金繰入額	190,443	196,036
退職給付費用	48,197	42,479
役員退職慰労引当金繰入額	5,096	6,919
水道光熱費	735,532	781,132
減価償却費	474,697	489,988
その他	570,719	980,769
販売費及び一般管理費合計	7,541,397	8,361,222
営業利益又は営業損失(△)	261,504	△37,193
営業外収益		
受取利息	361	541
受取配当金	4,671	5,044
保険配当金	2,678	2,562
受取手数料	3,925	3,811
受取保険金	1,043	1,180
リサイクル材売却益	4,745	5,179
その他	8,818	13,222
営業外収益合計	26,245	31,541
営業外費用		
支払利息	37,274	33,438
その他	5,060	6,105
営業外費用合計	42,335	39,544
経常利益又は経常損失(△)	245,415	△45,195

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
特別利益		
固定資産売却益	979	2,176
投資有価証券売却益	3,041	18,353
特別利益合計	4,021	20,530
特別損失		
固定資産除却損	161	7,440
減損損失	20,375	5,352
投資有価証券売却損	630	171
特別損失合計	21,166	12,964
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	228,269	△37,629
法人税、住民税及び事業税	125,297	55,346
法人税等調整額	△28,514	△34,309
法人税等合計	96,782	21,037
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,486	△58,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,908	21,087
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	117,578	△79,754

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,486	△58,666
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	19,300	2,728
退職給付に係る調整額	△1,705	△2,258
その他の包括利益合計	17,595	469
四半期包括利益	149,082	△58,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,438	△79,316
非支配株主に係る四半期包括利益	16,643	21,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	568,671千円	577,831千円
のれんの償却額	4,322千円	一千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の経営成績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれております。